

尿路上皮癌  
M-VAC(カルボプラチン)変法 患者プロトコール

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコール	投与量	投与日	投与時間	備考
1コース 4週間 制限なし 《開始時基準 PS:制限なし 年齢制限なし》				
内服・プレメディ	イメンド Day2:125mg/day、Day3,4~:80mg/day	day2,3,4~		
ルートKeep	生食	500mL	day1,2,15,22	—
ハイドレーション	ソルアセトF	500mL	day2	2時間
プレメディ	5-HT <sub>3</sub> R拮抗剤 + デキサメタゾン + 生食100mL	day2	30分	
	デキサメタゾン + 生食100mL	day15,22	30分	
①	メントレキセート:30mg/m <sup>2</sup> 生食50mL	mg	day1,15,22	15分
②	エクザール:3mg/m <sup>2</sup> 生食50mL	mg	day2,15,22	15分
③	ドキシソルビシン:30mg/m <sup>2</sup> 生食50mL	mg	day2	15分
④	カルボプラチン:AUC(4.5-5) 5%ブドウ糖500mL	mg	day2	2時間
◆メントレキセート、エクザールは催吐リスク最小度のため予防的制吐療法は推奨されないが、 Day15、22は、2剤併用のためQOLを考慮しデキサメタゾンを投与する。症例毎に制吐療法を実施しないことも考慮する。 ◆カルボプラチン投与量 = AUC(4.5~5) × (Ccr+25) Ccr算出:Jelliffeの式				

佐賀大学医学部附属病院